

# ひらか 連携ニュース

要介護度や医療依存度が高い患者さんの在宅療養を力強くサポートして下さるのが地域の訪問看護師さんです。当室では、訪問看護師さんから届いた退院後の患者さんの状況や退院支援に対する要望を、病棟へフィードバックし、退院支援の内容や方法を改善できるように取り組んでいます。今回は、退院時に当室で連携した訪問看護師さんの声をお届けします。

## 在宅療養を支える地域の力！訪問看護師

### すずらん訪問看護ステーション横手

Aさん 80代 男性 肺気腫・糖尿病  
インシュリン療法

日中独居で、横になっていることが多いため、認知症の悪化や体力の低下がないか確認しています。退院後、食事量の変化から低血糖症状が見られ、主治医より、低血糖時の指示をいただきました。今後ご本人が安心して在宅療養を継続できるよう、支援していきたいと思います。

### 訪問看護ステーションあじさい

Bさん 80代 男性 てんかん

退院後、痙攣発作はありません。表情がよく、会話が増えました。活動的になり、訪問リハビリを開始しています。

退院時共同指導は、支援するスタッフが全員で顔を合わせて情報共有できる貴重な場でした。

### 訪問看護ステーションうらら

Cさん 50代 男性 てんかん  
経鼻経管栄養

経口摂取が難しいと判断された方でしたが、トロミ剤を使用したピールやペースト状にしたウナギ、ケーキ等を数口ですが、摂取できるようになり、本人・ご家族共に気持ちが楽になったようです。今後も主治医と連携し、残された機能の回復・維持を図れるよう支援していきたいと思います。

### 虹の街訪問看護ステーション

Dさん 80代 男性 腎盂腎炎  
中心静脈栄養 膀胱留置カテーテル

退院後、発熱や尿の混濁がありましたが、抗生剤の投与により落ち着きました。持続点滴の速度調整で時折問題があり、指導を継続しています。持続点滴の管理について、ご家族が心配な点や手技が未熟な点を退院前に確認することで、より明確に病棟での指導内容を引継ぐことができると思いました。

### 訪問看護ステーションひだまりの郷

Eさん 80代 女性 脳梗塞  
経鼻経管栄養

笑顔が見られ、経管栄養も順調に行われています。チューブを交換する際、口腔機能訓練を行い、ぬるま湯を4口摂取していますが、気分がのらず訓練がすすまないこともあります。退院支援では、在宅に戻られてからのことを考えてくださっているのので、とても助かります。

### 平鹿訪問看護ステーション

Fさん 50代 女性 運動機能障害  
胃瘻 膀胱留置カテーテル

表情が明るく心身も状態安定しています。ご家族は病棟での指導を忠実に実践し、工夫をしながら介護しています。

ご本人やご家族の思いに寄り添い、ニードに応じたケアを提供できるよう努めています。

